

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	切除不能膵癌における REV7 発現強度の白金製剤治療効果予測バイオマーカーとしての有用性: 既存遺伝子マーカーとの比較検討(B25-173)
当院の研究責任者 (所属・職位)	消化器内科学・診療講師 玉置明寛
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>本研究は、切除不能膵がんの患者さんを対象とした観察研究です。膵がんの治療では白金製剤(プラチナ製剤)が効果を示す場合がありますが、効果には個人差があります。</p> <p>本研究では、過去の診療で採取された EUS-FNA 検体を用いて評価した REV7 というたんぱく質の発現と、治療効果との関係を解析します。また、すでに実施された BRCA 検査(BRCAnalysis)や、がん遺伝子パネル検査(CGP)の結果がある場合は、その情報もあわせて利用します。</p> <p>これらを包括的に評価することで、遺伝子検査だけでは分かりにくい場合でも、白金製剤の効果が期待できる可能性のある患者さんをより広く見つけられるかを検証します。</p> <p>なお、本研究のために新たな検査や治療を追加することはありません。</p>
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2025年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2015年1月1日から2025年12月31日までの期間に北里大学病院消化器内科で切除不能膵癌に対してEUS-FNA検体を用いてREV7発現の評価をおこなった患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	2015年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、消化器内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	<p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：消化器内科学・診療講師 担当者：玉置 明寛(タマキ アキヒロ) 電 話：042-778-8111</p>
備 考	